

い ず み じ ょ う      か め が じ ょ う  
出水城（亀ヶ城）跡

ち ゅ う せ い や ま じ ろ あ と た ん け ん かい  
中世山城跡探検会

ほ う こ く し ゃ  
報告書



出水城（亀ヶ城）跡[右側の森林部分]と出水麓地区の武家屋敷群

出水市教育委員会生涯学習課

平成29年3月

## ちょっと予習復習!? 出水城（亀ヶ城）について

出水城（亀ヶ城）関係 年表（『出水市郷土誌』等より）

	時代	西暦	郷土のできごと	主な出来事
中 世	鎌倉時代	1190-1199 年	和泉兼保が亀ヶ城を築いて本拠地とする	鎌倉幕府成立
	南北朝 時代	1336-1392 年	島津忠氏（島津和泉氏）が伴系和泉氏に代わり亀ヶ城に入る	足利義満が3代室町幕府將軍となる
	室町時代	1453 年	島津用久が薩州家を興し亀ヶ城に入る	応仁の乱
	戦国時代	1565 年	6代当主島津義虎が野田城主島津忠兼を出水城で謀殺する	鉄砲伝来
1587 年 4月27日		豊臣秀吉が征西途中、出水城に立ち寄る		
近 世	安土桃山 時代	1593 年	薩州家改易により出水城主不在となる	朝鮮出兵
	江戸時代		出水麓が作られ政治の中心となる	江戸幕府成立
近 現 代	現代	戦時中	一部に防空壕設置	太平洋戦争
		戦後	イモ畑	
	1960-1970 年代	市有林植林、林道整備		
	1977 年 (昭和 52 年)	市指定史跡『城山（亀ヶ城・花見ヶ城）』となる		
	2013-2018 年 (平成 25-30 年)	出水市教育委員会による発掘調査、報告書刊行（2018 年予定）		

### 中世山城の主な用語

- 大手（おおて） …山城全体の正面、表門。逆に、城の裏（裏門）は搦手（からめて）と呼ばれる。
- 水手（みずのて） …飲料水など生活用水を供給できる場所
- 切岸（きりぎし） …曲輪の周りの斜面を人工的に急にして登りにくくすること。曲輪以外にも作られている場合もある。
- 空堀（からぼり） …尾根の鞍部や曲輪を掘り切って、尾根伝いや隣接する曲輪から敵の進入を防ぐために造られた。水の無い空堀が一般的。
- 土塁（どるい） …曲輪の周囲に、空堀を掘った時の土などを利用して、線・帯状に盛って空堀や切岸とセットとなって曲輪を防御するもの。
- 虎口（こぐち） …曲輪の出入り口。戦国時代になると敵の進入を防ぐため、枡形虎口や喰違虎口など様々な形が生み出された。

## 1 大会の目的

中世山城跡は、遺構が良好に残っていても、雑草や樹木などが繁茂しているところが多いため、大事な遺構が隠れてしまい、人目に付きにくくなっていることが多いようです。最悪の場合、山城遺構の存在が忘れられてしまい、その結果、知らない間に工事などにより遺構が消えてしまうことが心配されます。

そこで出水市教育委員会では、このような市内の中世山城跡を舞台に、新たな遺構発見を目指しながら中世山城跡に実際に足を踏み入れることで、新しく発見された遺構や、目の前に姿を現した本物の遺構に感動することで、市内の中世山城跡についてさらによく知ってもらおうと、探検会を企画しました。

第1回目の探検会は、市指定史跡でもある、出水城（亀ヶ城）跡です。

## 2 出水城（亀ヶ城）跡について

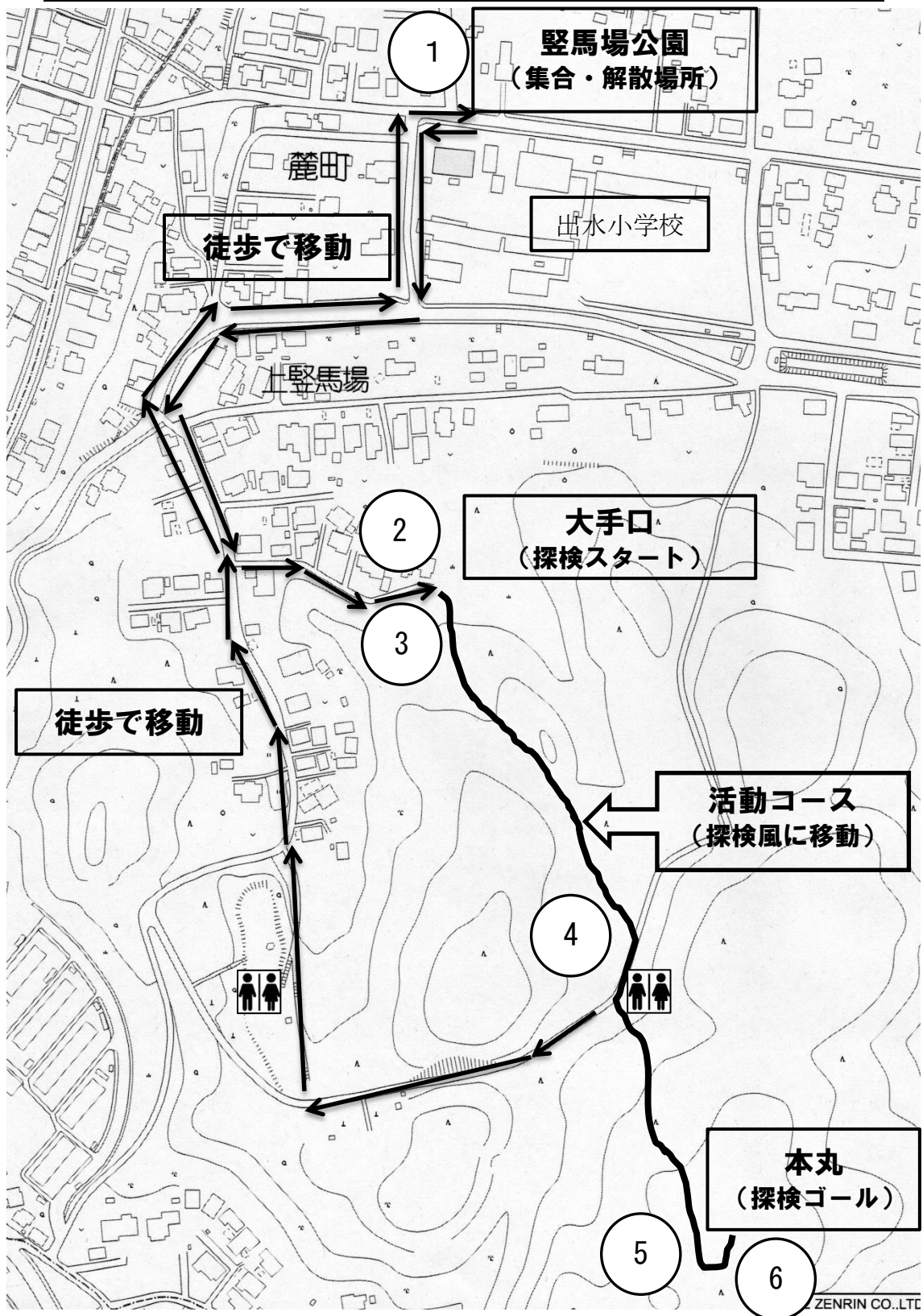
出水城（亀ヶ城）は、出水十一ヶ城跡の1つで、鎌倉時代は和泉城と称し、和泉氏の本拠地でした。室町時代末期までの約400年間の長い間、様々な変遷が行われたと考えられています。室町時代に入って島津用久が薩州家を起して亀ヶ城に入ったのが1453（享徳2）年です。

出水城（亀ヶ城）が立地する場所は、米ノ津川と平良川に挟まれていて敵からの攻撃などを防ぐことに適した丘陵地です。そして、このあたり一帯は厚いシラス層が堆積しているところで、長年の侵食でできた大小の谷は、山城の曲輪や空堀などを作るのに適していたと考えられます。

## 3 探検会の概要

- (1) 名称 平成28年度中世山城跡探検会「出水城（亀ヶ城）跡」
- (2) 日時 平成29年1月21日（土）午前9時～正午
- (3) 参加者 36人
- (4) コース [集合・開会式場] 堅馬場公園～大手口～大土塁～捨殿ヶ城跡～  
本丸（小松ヶ城跡）～発掘調査地点  
[閉会式場・解散] 堅馬場公園

# 出水城(亀ヶ城)跡探検会コース図



※○囲み数字の位置は、次ページ 4 活動の紹介 の場所です。



## 4 活動の紹介

### ①開会式



開会式は麓町の豎馬場公園で開催。市内外から約40人の参加がありました。

### ③探検の風景1



大手口西側の治山ダムから探検開始。ここだけは“文明の力”(キヤッツ)を使って登ります。

### ⑤探検の風景3



捨殿ヶ城跡の石積遺構の前で説明を聞く参加者。当主の権威を示すと考えられるこの遺構は、ここと出水城全体の中心と考えられる水夫ヶ城跡に残っています。

### ②大手口



探検のスタートは出水城の玄関口「大手口」から。今年は雨天後など大手口付近は歩いて入れませんでした。説明のみ。

### ④探検の風景2



上と下とは約8メートルの高低差です。これは、大土塁(おおどるい)と呼ばれる遺構で、出水城特有の防御施設の一つです。

### ⑥本丸(ゴール)到着



ゴールの小松ヶ城では、発掘調査で検出された遺構の説明がありました。小松ヶ城の入り口に当たる通路の地点で、ここでは柱穴跡が検出されています。

## 5 参加者の感想

### 良かった点など

- 楽しかった
- ちょうど仕事が休みであったので参加できてよかったです。中世山城には、はっきりした姿がないので頭の中で色々思いうかべる事ができ、ロマンがあると思います。
- とてもたのしかった。
- 前回の出水城探検とコースも変更され、初めてでも複数回の参加者も楽しめるイベントでした。子供も青磁の破片を拾い、お宝発見もあり、楽しい催しでした。
- 子どもたちが探検を楽しんでいました。山林内を歩く機会はなかなかないので、子どもが自然をおもしろいと思ってくれるよい体験でした。チラシに参加者の方の感想が乗っていたので、子どもでも楽しめることがわかり参加しようと思いました。大人の方に混じり、よいふれあいをさせていただきました。ありがとうございました。
- 去年の野田にも参加して今回2回目。説明の方がわかりやすい語りで深い森の中で聞いていると古代にタイムスリップした感じがよくて、話に引き込まれてしまう。森林浴も兼ねて楽しみにしています。個人ではなかなか足をふみ入れない所で地元再発見しています。
- 前回に続き、2回目の参加でした。山城の特徴のようなものが何となく理解できるようになってきたのかと思います。昔はここに人々の生活があったのだと思うと感ずることも多くタイムスリップできれば良いのにと感じてしまいました。次回があればまたぜひ参加したいです。
- 足がつったけど、歴史が学べてよかったです。
- とってもいろいろしり、もっともおぼえているのが、しろあとが9こもあったことです。とってもいいべんきょうになりました。
- 行ったことのない場所などを見学出来た事が良かった。また参加して色々な所に行きたいと思いました。
- 説明が具体的で非常にわかりやすかったです。出水市には指定の山城が4か所あるとのことですが、このような会があれば参加いたします。

### 悪かった点など

- 案内図は、進行方向に沿った図が見やすいので、今回の図は上下逆の方が良かった。

### 課題、要望、その他

- 山に登るのは楽しかったけどきつかった。
- 出水城跡に瓦が見つかったと話がありましたが、広報誌等で発表等があったら、教えて下さい。
- 子供達にも、チャンスがあれば体験をさせてあげたらいいですね。(学校ごと、子ども会ごとなど) 今回も、発掘体験ができたら、なお楽しかったかなと思います。これからも頑張ってください。ありがとうございました。

- 出水市民でも、島津征伐のおり豊臣秀吉が来て泊まったとか知らない人も多いと思いますので、知ってほしい。
- 初めて出水城を見学しました。中世の山城の様子が、どのように造られて現在に至ってきたのか、よくわかりました。山城と現在の麓地区が一体となった出水の歴史を理解できて意義深いものでした。今後も、このような催しをしてください。今後は友人も誘って参加したいです。生涯学習課の皆様、有難うございました。
- 地図の整備をして欲しい。遊歩道を早く作って下さい。
- 出水に住んで 66 年、出水の城について少しは知っていたが、こんなにくわしくは知らなかった。
- 疲れしました。出水城の敷地が案外広くてこみ入っていたのでびっくりしました。
- 出水に来てから 10 年になりますが、この様な事に参加して少しずつ出水の歴史がわかって来ますが次回は城跡でなく、江戸時代の軸屋跡などの探検等を企画してください。
- いくつもの城跡（花見ヶ城、小松ヶ城、水夫ヶ城等々）があつて、「出水城」と呼ばれていたことが今まで「何でいくつも城があつたのだろうか？」と思つていましたが、今回の探検会で納得できました。山を切り開いて、曲輪と空堀、切岸、土塁を作つて戦闘に備えていたという「中世山城」を直接見て登つてとても興味深いものでした。郷土誌で見えてはいましたが‘百聞は一見に如かず’でした。ありがとうございました。
- 武家屋敷群の探検会等も計画できたらいいですね。
- 貴重なご説明下さいましてありがとうございました。墓地公園の亀ヶ城説明板であの周りが「出水城」跡地と思つていました。本日の説明で各城跡があることを知りました。各城名の理由を知りたいとも感じました。今後研究が進んで、市民に開放されたらいいのではとも思うが、保存も大切ですね。
- ネットで見ると、わざわざ出水城を見に来た人が、城まで行けなくて残念と書き込んでいるので、山城見学遊歩道が出来ると良い。
- 以前から興味がありました出水城に、担当の方の解説付きで見学出来た事、大変有意義な時間でした。織豊型とは違った南九州独特の中世山城との事で、その点もより興味を持ったところでした。シラス採取等により、当時の形がそのまま残っているわけではないとのことでしたが、これからも保存を徹底し発掘を進め、当時の姿を一層垣間見ることが出来ればと思います。

※この他にもたくさんの御感想や御意見をいただきました。

ありがとうございました。

## 6 まとめ

大会当日は晴天での開催となりました。探検会場の出水城跡内は、前日までの雨の影響が心配されましたが、歩行などに特に問題は無く、会はスムーズに進行できました。



探検会には市内及び近辺からの参加が多く、また、史跡への関心が高い方が多いことを感じました。

参加者は山城探検スタートの大手口でナタ、カマなどの道具を受け取り、歩行に邪魔な雑草や枝を取り払いながら進み入り、出水城跡の切立った曲輪のがけの下に立ったり、作られた大土塁おどるいを見つけたり、だんだん細くなる城道しろみちなど歩き、あたかも当時の戦人いくさびとの気分を体感していたようでした。

山城遺構や発掘調査の成果の説明は、生涯学習課の担当職員が行いました。

このように、出水城跡の探検会は「足で歩き、目で見て、耳で聞く」と、郷土の歴史をまさに体感するというような探検会になりました。



次回は高尾野町江内の市指定史跡「木牟礼城跡きのむれじょうあと」を含む、木牟礼地区で開催予定です。



木牟礼城跡の航空写真（『Google マップ』に一部加工）